

社馬連 18 第 52 号
2018 年 12 月 18 日

会員団体各位

日本社会人団体馬術連盟
会長 山口 昇
(担当 普及委員会)

中上級障害馬術講習会の参加者募集について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

標記の件、下記の通り実施致します。

本講習会は、障害馬術中上級者を対象として、障害への誘導の仕方、ペース、障害飛越時の姿勢、コース走行のポイント等、技術向上を目指すものです。

競技会への出場等、さらなるステップアップを目指す方のご参加をお待ちしております。

— 記 —

1. 開催日時：2019 年 2 月 16 日(土)～17 日(日)
12:00 現地集合
2. 開催場所：壬生乗馬クラブ
栃木県下都賀郡壬生町国谷 2123
TEL:0282-82-0446
* 交通：【車利用】北関東道壬生インターより約 10 分
3. 講師： 鶴見 利光 氏
(壬生乗馬クラブ代表・JEF 指導者資格準コーチ・日体協 C 級コーチ)
4. 参加費用：25,000 円(実技 3 鞍 騎乗料・講義料・懇親会費)
* 当日現地で徴収します。
* 宿泊費は含みません。
宿泊先の予約も各自手配となりますのでご注意ください。
乗馬クラブ・懇親会店舗近隣の下記ホテルをお奨め致します。

ホスピタルイン獨協医科大学
栃木県下都賀郡壬生町北小林 1075-18
TEL:0282-85-1551

5. 募集人数： 10 名程度
- * 申込者多数の場合、調整させていただく場合がございます。
 - * 最小催行人数:4 名未満の場合は中止とさせていただきます。
 - * 定員になり次第申込を終了させていただきます。
 - * 先着順とさせていただきますので予めご了承ください。
 - * 結果につきましては、後日、本連盟よりご連絡致します。
6. 参加資格： 社馬連資格 B グレード以上
- * 何らかの傷害保険に加入していることが必須です。
 - * 社馬連競技会に出場している方、及び出場を目指す方。
7. 服装： 3 点固定式ヘルメットを必ず着用してください。
プロテクターの着用も推奨します。
8. 申込方法： 添付の申込書を、電子メールまたは FAX にてご送付願います。
- * FAX の場合、不達の事がありますので必ず事務局への電話確認も併せてお願いします。
- また、電子メールの場合は受付の返信を行いますので、返信がない場合は再送頂きますようお願い致します。
9. 申込締切： 2019 年 1 月 24 日(木)必着
10. お問い合わせ： 日本社会人団体馬術連盟 事務局
- TEL： 03-3297-5630
FAX： 03-3297-5636
E-Mail: shabaren@jbg.jp

【当日のスケジュール(予定)】

2月16日(土)	
12:00	壬生乗馬クラブ集合 *昼食を済ませて、騎乗できる服装でご参集ください。 ・オリエンテーション 騎乗馬の注意点等 馬装
13:00	実技1 鞍目 ・障害馬術におけるフラットワーク 実技2 鞍目 ・障害基礎練習 騎乗馬/馬具の手入れ
15:30	講義 ・実技練習の解説、質疑応答等
17:00	ホテル着
18:30	懇親会

2月17日(日)	
8:30	各自朝食後、クラブハウス集合
9:00	・コース設営 馬装 実技3 鞍目 ・コース走行 騎乗馬/馬具の手入れ
13:00	現地解散

※馬や馬場の状態に合わせて多少スケジュールが変更になる場合があります。

中上級障害馬術講習会(補足資料)

1. 講師(鶴見利光氏)について



【写真は活躍中のフレーゲル2号と鶴見氏】

壬生乗馬クラブ代表・JEF 指導者資格準コーチ・全国乗馬振興協会乗馬指導者資格・日体協C級コーチ・現役障害ライダー・国体栃木県監督兼選手

2. 講習会について

日本馬術連盟公認の競技会を年数回開催している壬生乗馬クラブにて、競技会同様のコースを設置し、競技を想定した走行が出来る実践的な講習会です。

現役ライダーの鶴見氏の直接指導による、障害馬術競技会を目指す講習生それぞれの技量に合わせた的確かつ論理的な障害練習はもちろん、実際に練習コースの走行を通した実践的な練習など、障害競技の基本を中心とした講習会は大変好評です。また、障害馬術に対する論理的・多面的な講義はとても勉強になります。

障害馬術で更なるステップアップを目指す方に適した内容となっております。

毎年、当講習会に参加した講習生からは「鶴見先生の熱心な指導に感激した」「普段乗れないような競技馬での練習で感覚の違いに驚いた」「このような普及行事を数多く開催してほしい」といった声が数多くあがっております。

昨年度の講習会の開催レポートは、下記の社馬連ホームページからご覧いただけます。

<http://www.jbg.jp/article/20180316-7133>